

■ 教育目的

医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を理解し、正しく取り扱うことができるようになるために、医薬品情報の収集、評価、加工、提供に関する基本的知識、技能を習得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②, ③, ⑥】

■ 学習到達目標

1. 医薬品の適正使用のための情報収集法、評価法を説明できる。(知識)
2. 医薬品情報源としての一次資料、二次資料、三次資料を説明でき、代表的な二次・三次資料の特徴を説明できる。(知識)
3. 医療文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(知識・技能)
4. 代表的な臨床研究の手法の特徴、並びに臨床研究におけるバイアス・交絡について概説できる。(知識)
5. 介入研究の計画上の技法及び効果指標の違い、臨床研究の結果の主なパラメータを説明し、計算できる。(知識・技能)
6. EBMの基本概念と実践のプロセスを概説できる。(知識)
7. 臨床研究論文の批判的吟味に必要な基本的項目を列挙し、内的妥当性と外的妥当性について概説できる。(知識)
8. 医薬品情報を加工・提供する際の方法と注意点(知的所有権、守秘義務など)を説明できる。(知識)
9. 問題志向型システム(POS)、SOAP形式などの患者情報の記録方法について説明できる。(知識)

■ 準備学習(予習・復習)

予習：教科書の該当部分に目を通しておく。(30分以上)、復習：講義内容を講義プリント及び教科書を用いて復習する。(30分以上)

■ 授業形態

課題解決型学習、講義

■ 授業内容

医薬品の適正使用に欠かせない医薬品情報の収集・評価・提供に関する基本的内容をマルチメディアを活用して講義する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	情報	概論	E3(1)-①-1~5
2	情報源 1	医薬品情報(DI)の種類と特徴	E3(1)-②-1,3
3	情報源 2	医薬品添付文書(医療用・一般用)	E3(1)-②-2,4,5
4	情報源 3	医薬品添付文書と医薬品インタビューフォーム	E3(1)-②-3,6
5	データベース	DI データベース、DI の検索	E3(1)-③-1,2
6	医薬品の開発過程と DI 1	非臨床試験、臨床試験	E3(1)-①-3 E3(1)-⑥-1,2
7	医薬品の開発過程と DI 2	製造販売後調査	E3(1)-①-4,5
8	Evidence-Based Medicine (EBM) 1	基本概念と臨床研究のデザイン(無作為化比較研究、コホート研究、症例対照研究)、メタアナリシス	E3(1)-④-1,2,3,4
9	EBM 2	EBM の実践手順	E3(1)-⑥-3,4,5,6,8
10	EBM 3	臨床研究結果の主なパラメータ(相対リスク、相対リスク減少、絶対リスク減少、治療必要数など)	E3(1)-⑥-9
11	DI の収集・評価・提供 1	医薬品に関する質疑に対するアプローチ	E3(1)-③-2
12・13	DI の収集・評価・提供 2・3	臨床研究論文の批判的吟味 1 & 2	E3(1)-③-3,4,5, ⑥-9
14・15	DI の活用 1・2	薬歴、問題指向型記録、医療現場における DI の活用	E3(1)-④-3, ⑦-1,2

■ 授業分担者

大野 恵子(No.1~15)

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

講義内容に関する質問等は、随時、オフィスアワー等を活用して個別に受け付ける。期末試験の成績(100%)で評価する。

■ 教科書

『コンパス医薬品情報学－理論と演習－』改訂第2版(南江堂)、講義プリント

■ 参考書

『EBM 実践ワークブック』(南江堂)、『医薬品情報学』(廣川書店)、『医薬品情報学－ワークブック』(朝倉書店)